

いの流水俳壇

「当季雑詠」

刈谷 志津選

特選
立春の日子し掻き寄せ竹箒

間 浩一郎

〔評〕立春とは節分の翌日で、2月4日又は5日にあたります。暦の上ではこの日から春になります。まだ寒さの中で春立つ日です。掲句は立春の日の庭掃除の様子を見てみると、塵ではなく春のまだ淡い日さしを竹箒がせつせと掻き寄せている。こんな俳句の作り方もあるということをご教示をいただきました。この句は作者の表現力の豊かさ、たゆまぬ努力にあると感動しました。

まだ美しく回らぬ舌の初音きく

竹崎たかひろ

〔評〕初音とは、今年始めて聞く鶯の鳴き声と言います。古来「梅に鶯」といつて梅の花が咲く2月初めのころで、春の先駆けとされています。また鶯の鳴き声が整ってくるのは3月ごろです。上手に鳴けない鶯の声、初音を「まだ美しく回らぬ舌」と表現し、よく分る句に仕上がっています。確かな春を身近に感じている作者、やがて鶯も老鶯となり、美しい声を披露するでしょう。

啓蟄や老の二人も鎌をふる

國田 貞子

〔評〕啓蟄とは土中に冬眠していた虫たちが、春暖の候となつて穴から出てくること言います。また暦では、3月5日又は6日ごろにあたります。掲句は「啓蟄や」で切つて上五字、「老の二人も鎌をふる」中七と下五と合わせて十二文字の二句一章となっています。この句の「老二人」はおそらく老夫婦なのでしょう。この日は啓蟄で、老夫婦が山畑を耕しているのと地虫が出たのではと期待と想像の膨らむ楽しい一句となりました。

入選

春めくや川瀬にまざる魚の影

百年の家に飾りし古籬

明日からは別の道行く卒業生

彼岸会や風の音して母の声

片岡 包女

岡村 嘉夫

大川 節弥

小野川町子

如月や底冷え続く山の朝
老姉妹三年ぶりの雛の宴
石垣に紐のかたちの蝮蛇出づ
キッチンに空豆の花飾りけり

川村 博子
津田 久美
森岡 照月
田蔦てい子

二句抄

春一番仁淀川波瀬を早め
炊き出しの訓練総出山笑ふ
ぐうぐうと腹が騒いで山笑ふ
春めきて百才といふ叔母に会ふ
新しき道の開けし春田中
ヘルパーの助けを借りて難飾る
夕暮の愁ひ果てなし春の雨
地虫出づ土佐へお客のどつと来る
雨あとの土手こんなにも露の臺
コーヒの香に包まれし初音かな
込み上げる笑いを一人春の風
啓蟄や子の声揚がる古校舎
卒業日第一ボタン無き子いて
内裏離れただ一睡の半世紀
遠山の何やら嬉し春の雪
桑田山登り下りの寒桜
歩きつつ受けるケータイ春の声
草木の目覚まし時計春の雨
レイ幾重白は冠れんげ草
春めきて足に添いたる靴を買ふ

津田 久美
森岡 照月
田蔦てい子
小野川町子
川村 博子
大川 節弥
岡村 嘉夫
片岡 包女
間 浩一郎
竹崎たかひろ
國田 貞子
劉谷 志津

選者引継の挨拶

劉谷 志津

前任の友草水月先生より、思いがけなく私が「いの流水俳壇」の選者することとなりました。長年親しんできました俳句ですが、老齢の私にとりましては大役です。しかし、残された人生の良きパートナーとして、続けていけたらと思つています。この俳句会は大先輩、諸先生方が受け継がれ、いの町に俳壇という大きな灯りを輝かしてきました。私は微力ですが、この灯りを灯していきたいと思つています。広報をご覧の町民の皆様、俳句欄も是非ご一読くださいませう、よろしくお願ひします。以上簡単ですが、選者引継の挨拶とします。

次題 「当季雑詠」五句
締め切り 毎月五日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-11
893-1922

平成27年度 とも川柳年間優秀作品

最優秀

あやという すてきな名前 大すきだ

伊野小 2年 岡田 彩

〔評〕自分の名前が大好きとはつきり言い切る小学2年生に、優しさが通じ合っている家族の気持ち美しく伝わってくる。今の気持ちを大切に成長してほしいと思います。

優秀

お泊りで 思いでいっぱい 傷いっぱい

伊野南小 5年 有岡 美咲

〔評〕お泊りは旅行などいろいろあるのだが、楽しいことばかりではなく困ったことやいやなこととも思い出される。何事も良い事ばかりではないことを教えてくれる小学5年生の川柳を心にとめておきたいです。

火の花は 夜空にうかがふ 魔法かな

枝川小 6年 山田真奈美

〔評〕「花火のことを「火の花」とよむ小学6年生の表現の上手さ、大人顔負けする川柳一句にこころ奪われる。

入選

あいさつは みんなの心 ひらくまで

川内小 2年 森田 花凛

本読んで 心の風船 ふくらんだ

川内小 3年 千田 美海

絵や字でも 人の心が 見えるんだ

枝川小 4年 福原 咲

運動会 疲れた足に ありがとう

枝川小 6年 林 泰匠

桜散り 出会いと別れ くりかえす

伊野南小 6年 宮崎 琳斗

友だちは いっしょにあそぶ たからもの

川内小 3年 西内 結音

冬の朝 出るのがいやだ ふとんから

川内小 5年 横田 大樹

「とも川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。平成28年度初回提出締切は5月10日(火)です。皆さんからたくさんのお応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。

有料広告

医療法人 森木病院

光生会

院長 森木 光司

内科
外科
小児科
循環器内科
消化器内科
リハビリテーション科
人工透析

吾川郡いの町3674 TEL (088) 893-0014